

[工事業者様用] ●このたびは、東芝パッケージエアコン用ワイヤレスリモコン受信キットをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。  
●取り付けの前に、この説明書をよくお読みになり正しい取り付けを行ってください。  
この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

**TOSHIBA**

東芝パッケージエアコン（天井カセット形 4 方向吹出しタイプ）  
ワイヤレスリモコン受信キット

**取付説明書**

形名 RBC-AXR41U(W)(C)(N)(K)

**安全上のご注意** については、天井カセット形 4 方向吹出しタイプ（以下室内ユニット）の据付説明書、取扱説明書、あるいは天井パネルに付属の取付説明書をご覧ください。

**付属部品**

（次の部品が入っています）

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	受信部	1	②	取付説明書（本書）	1	③	コードクランプ	1	④	コードクランプ 固定ねじ φ4×12	1

※ワイヤレスリモコンは別売の RBC-ATX41 を使用してください。

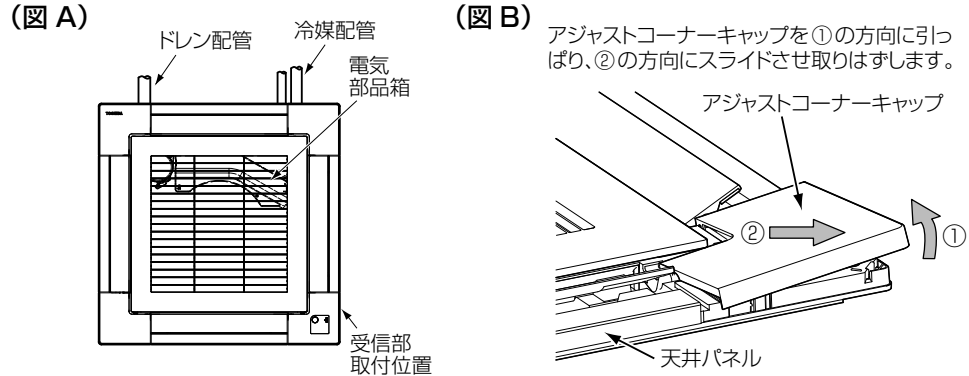
**取り付け前の受信部の設定**

- 受信部取り付け前に各項目をご覧ください。設定を実施してください。
- ワイヤードリモコンと同時設置する場合 → ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定（親／子切替）
  - 同じ部屋に複数の受信部を設置する場合 → リモコンの A/B 切替設定

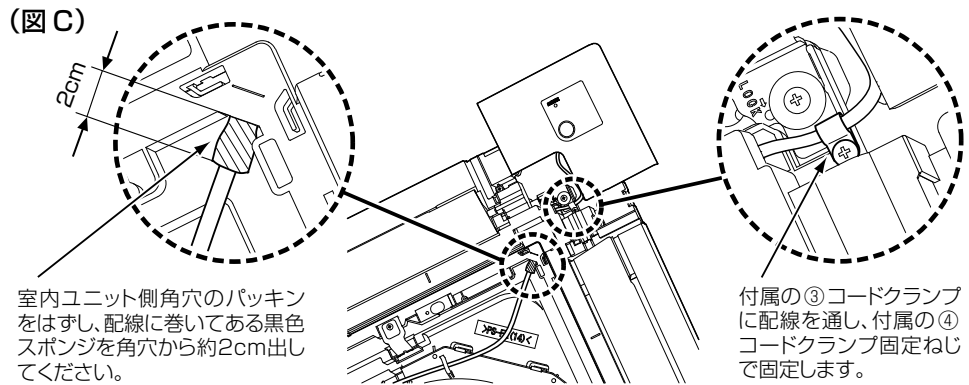
**受信部の取り付け**

※受信部が取り付け可能なコーナー部は図 A に示した 1 か所のみです。パネルを取り付けたときの向きを考慮し室内ユニットを据え付けてください。

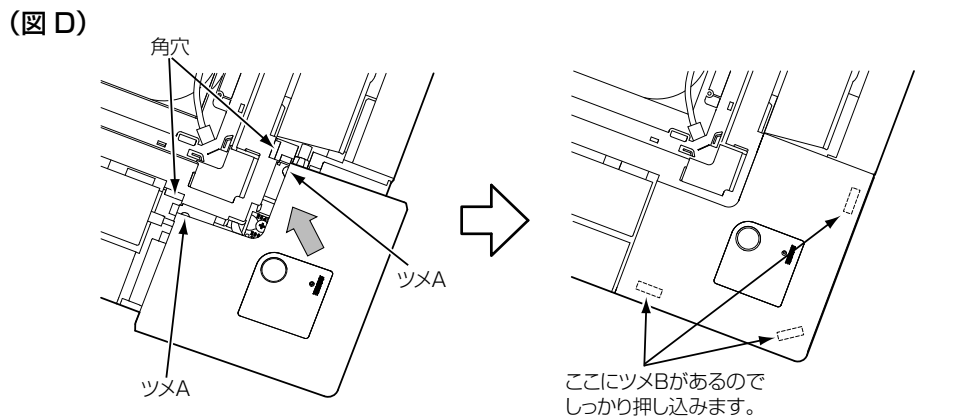
- 吸込グリルをはずします。
- 受信部取付位置のアジャストコーナーキャップをはずします。（図 B）



- 天井パネルは配線を通すための角穴にパッキンが詰めてあります。パッキンをはずしてから受信部の配線を角穴に通します。（図 C）
- 配線に巻いてある黒色のスポンジを室内ユニット側の角穴から約 2cm ほど出した状態にして、コードクランプでねじ固定します。（図 C）  
※黒色スポンジの位置決めを確実にしないと水漏れ、露付き、配線の結露などを起こすおそれがありますので、必ず行ってください。



- 受信部をパネルに取り付けます。このとき、配線をはさまないよう注意してください。（図 D）  
●受信部のツメがはまっていない箇所があると水もれの原因となりますので、ツメ A（2 か所）とツメ B（3 か所）を確実にしっかりと奥まで押し込み、受信部の浮きがないことを確認してください。



パネルの角穴へ受信部のツメ A（2 か所）を矢印の方向へ差し込みます。

受信部裏面のツメ B（3 か所）がはまるように押し込みます。

〈注〉受信部の配線は電源線などと一緒により合わせると誤動作の原因となりますので避けてください。  
※配線、試運転については「受信部の配線」および「試運転について」を参照してください。

**受信部の配線**

**接続図**

**接続方法**

受信部からの配線を室内ユニットのリモコン配線用端子に接続してください。（極性はありません）

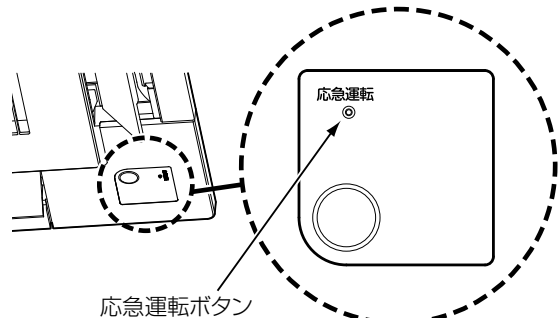
〈注〉受信部との配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないように接続してください。（AC200V を印加するとこわれます）

●余った配線は電気部品箱内のコードクランプにて配線処理し、吸込グリルを取り付けます。

**試運転について**

リモコンによる通常操作で運転確認を行ってください。室温がサーモ OFF するような条件では、以下の手順で強制試運転ができます。

- 「応急運転」ボタンを 10 秒以上押すと、「ピッ」と音が鳴り、強制冷房運転になります。約 3 分後に強制的に冷房運転を開始します。冷風が吹き出すか確認してください。運転を始めないときは、配線を再確認してください。
- 試運転を停止するときは、「応急運転」ボタンをもう一度押します。（約 1 秒）上下風向調整板がしまり運転を停止します。



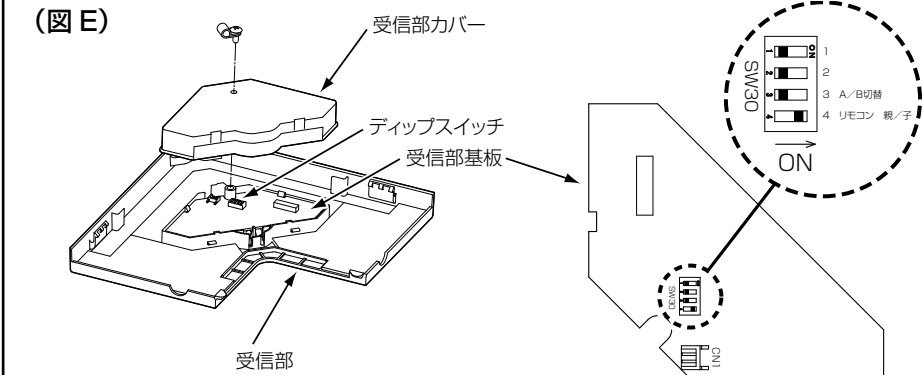
**ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定（親／子切替）**

ワイヤードリモコンと同時設置することにより、1 台もしくは複数台のユニットを 2 個のリモコンで操作することができます。

（ワイヤレスリモコン、ワイヤードリモコンを合わせて最大 2 台まで設置可能です。）  
2 つのリモコンで操作する場合は、「親リモコン」と「子リモコン」の設定が必要です。  
以下の手順でどちらかのリモコンを子リモコンに設定してください。

●ワイヤレスリモコンを子リモコンにする場合

- 電源ブレーカを OFF にします。
- 受信部の固定ねじをはずし受信部カバーをはずします。
- 受信部基板のディップスイッチ SW30 の 4 番を OFF ⇒ ON にしてください。



●ワイヤードリモコンを子リモコンにする場合

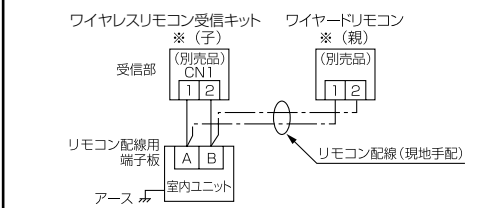
変更方法は、ワイヤードリモコンの据付説明書をご覧ください。  
〈注〉リモコン親子設定が正しく行われていない場合は、点検コード“E 01”“E 03”または“E 09”が表示されます。

●基本配線図

〈注〉配線 A、B の極性はありません。

**室内ユニット 1 台をリモコン 2 台で操作する場合**

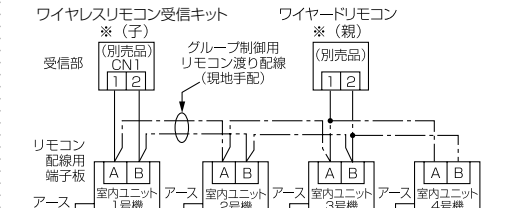
※どちらのリモコンを親／子リモコンに設定しても動作します。



- 現地配線は 0.5mm<sup>2</sup> ～ 2mm<sup>2</sup> を使用します。
- 総配線長は 400m 以内としてください。

**複数台グループ制御を、リモコン 2 台で操作する場合**

※親／子リモコンはどの室内ユニットに取り付けても動作します。



- 現地配線は 0.5mm<sup>2</sup> ～ 2mm<sup>2</sup> を使用します。
- グループ渡り配線の総配線長は 200m 以内としてください。

**リモコンの A／B 切替設定**

●同じ部屋に複数の受信部が設置されているときは、混信を防ぐためにリモコンの A／B 切替を設定することができます。

- 電源ブレーカを OFF にします。
- 受信部の固定ねじをはずし受信部カバーをはずします。
- 受信部基板のディップスイッチ SW30 の 3 番を OFF ⇒ ON にします。（図 E）

※この設定内容はワイヤレスリモコン受信キット側の設定でありワイヤレスリモコンの A／B 設定変更を行わないと操作が出来ませんので、ワイヤレスリモコンの取扱説明書をご覧ください。A／B 切替を行ってください。